

<様式3号>
平成 年 月 日

かながわブランド登録審査申込書

かながわブランド振興協議会会長 殿

(登録希望団体)

団体名： _____
代表者名： _____ (印)
住 所： _____
連絡先： TEL _____ / FAX _____
Eメールアドレス _____
担当部署： _____
担 当 者： _____
ホームページの有無： 有 (_____) ・ 無

かながわブランド登録要領に基づき、次のとおり登録審査を申し込みます。

1. 分類

野菜	豆類	米	林産品	果実	花き	農産加工品	畜産品
畜産加工品	水産品	水産加工品	その他				

2. 概要

- (1) 品目 : 【 _____ 】
(2) 登録名 : 【 _____ 】
(3) 特徴、こだわり (他と差別化できるポイント)

(_____)

3・生産状況

(1) 産地(生産されている産地を市町村単位で全て記入)

()

(2) 生産者数:【 _____ 】

(生産者名簿を必ず添付する)

(3) 生産量(又は出荷量)

区 分	生産量	出荷量	栽培面積 (飼養頭羽数等)	備 考
直近年度	単位: _	単位: __	単位: __	
前年度				
前々年度				

(過去3年間の状況を記入すること)

(4) 供給体制

取扱期間

年間 特定期間 ____月(上・中・下) ~ ____月(上・中・下)

出荷(販売)方法

市場出荷(主な出荷先卸売市場名を記載) (構成比____%)

【 _____ 】

業者との契約販売(量販店、専門小売店、料理店等への出荷) (構成比____%)

系列店舗での販売(直営販売所、JA、Aコープ等) (構成比____%)

生産者直売 (構成比____%)

宅配 (構成比____%)

その他(イベント即売等具体的に記載)

【 _____ 】

合計 100%

小売標準価格(野菜等価格変動の激しいものを除く)

()

主要販売（提供）場所（一般からの問い合わせに対して明示できる店舗名等）
 （ 量販店・大型直売所・JA店舗等できるだけ詳細に記入）

店 舗 名	所 在 地	電 話 番 号	販 売 時 期

宅配の実施状況

実施中（ 申込み用紙、チラシ等を作成している場合は添付する）

実施予定【 ____年 ____月頃実施】

未実施

4. 登録要件適合状況

(1) 基本要件

書面を添付のこと

生産基準

出荷基準

その他（ _____ ）

(2) 個別要件《野菜・豆類・米・果実・花き・農産加工品・林産品》

農産加工品及び林産品は のみ記入のこと

導入する省令技術

ア. 土づくりに関する技術

堆肥等有機質資材施用技術

〔 土壌有機物含有量等土壌の性質の調査の結果に基づき、堆肥その他の有機資材であって、炭素窒素比が概ね10～150の範囲にある物を農地に施用する技術 〕

緑肥作物利用技術

〔 土壌調査の結果に基づき、堆肥等有機質資材を施用するレンゲ等、緑肥作物を栽培して農地にすき込む 〕

イ. 化学肥料低減技術

局所施肥技術

（ 作物の根の周辺に肥料が利用されやすいよう集中的に施用）

- 有機質肥料施用技術 (なたね油かす等を化学肥料に代替する)
- 肥効調整型肥料施用技術 (肥料成分が溶け出す速度を調整した化学肥料を施用する)

ウ. 化学農薬低減技術

- 温湯種子消毒技術 (種子の温湯浸漬により有害動植物を駆除する)
- 機械除草技術 (機械による雑草の駆除)
- 除草用動物利用技術 (アイガモ、コイ等を放飼し、除草する)
- 生物農薬利用技術 (天敵等を利用し、病害虫を駆除する)
- 対抗植物利用技術 (土壌中の有害動植物を駆除する効果を有する植物を栽培する)
- 抵抗性品種・台木利用技術 (抵抗性をもつ品種、またはその農産物を台木として利用する)
- 土壌還元消毒技術 (土壌中の酸素の濃度を低下させることにより、土壌中の有害動植物を駆除する)
- 熱利用土壌消毒技術 (太陽熱、熱水、蒸気により土壌を消毒する)
- 光利用技術 (反射資材・黄色灯等、昆虫の光に対する行動を利用する)
- 被覆栽培技術 (べたがけ・雨よけ・トンネル等による物理的防除)
- フェロモン剤利用技術 (フェロモントラップ等による交信攪乱)
- マルチ栽培技術 (土壌の表面をフィルム等で被覆し、雑草を抑制する)
- 天然物質由来農薬利用技術 (有機農産物の日本農林規格(平成17年10月27日農林水産省告示第1605号)別表2に掲げる農薬を利用する)

防除履歴の記帳状況

- 記帳していることを確認しているのみ
- 回収のみで点検せず
- 一部の防除履歴を回収・点検
- すべての防除履歴を回収・点検

(3) 個別要件《畜産品》

動物用医薬品の記帳状況

- 確認している
- 現状では確認していないが、今後は確認する

(4) 個別要件《水産品・水産加工品》

品質管理策

- 鮮度管理(生き〆、冷海水、魚漕温度管理等)
- 衛生管理(殺菌海水、施設の抗菌化等)
- 品質管理(選別、傷魚の除去等)
- 生産履歴の記帳(養殖のみ)
- その他 ()

取組みの具体的内容

書面を添付のこと

販売時の統一表示

容器に表示

シール、カードに表示

その他（販売店にPOPを表示等）

5．かながわブランドマークの表示方法

既登録品については写真を添付のこと

容器包装類

チラシ類

掲示物

その他の媒体（ ）

表示予定（表示予定物及び予定年月日）

6．その他

自己評価書及び関係書類を添付のこと